

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		インフォメーションボード整備					所管	文化産業観光部 観光課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	178	計画事業名	インフォメーションボード整備			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 39 誰もが安心して快適に観光できる環境の整備					[事業開始] 平成14年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし						
	事業対象	直接の対象 : 観光客及び区民 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	国際文化観光都市として4か国語(日・英・中・ハングル)併記の観光案内板や英字案内板を整備することで、台東区を訪れる国内外の旅行者及び区民の利便性と回遊性の向上を図る。									
	事業内容 [H30年度]	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光案内板の新規設置 20基 ○ 旧町名由来案内板盤面更新 10基 ○ 既存観光案内板の維持管理 									
	委託の有無	一部委託		委託内容		案内板製作、設置、盤面更新					
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
					目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	表示内容の見直し数(基/年)		基	-	33	39	20	0	-	
		案内板設置基数		基	137	77	105	125	97	128.9%	
	成果指標	案内板充足率(基/1km ² あたり)		基	14	6	10	12	8	150.0%	
	決算額 (単位:千円)					H28年度		H29年度		H30年度	
						42,083		50,027		44,495	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				5,350		4,190		4,849	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				42,084		50,028		44,496	
その他のコスト(扶助費・補助費など)				0		0		0			
総経費				47,434		54,218		49,345			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				23,800		20,274		31,930		
	一般財源(区負担額)				23,634		33,944		17,415		
課題及び今後の進め方	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、平成30年度から2か年で観光案内板32基を整備する計画となっている。令和元年度は12基の新規設置を行う。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	4	本区を訪れる観光客が増加する中、誰もが、安心して快適に移動・滞在・観光することができるよう、東京都と連携しながら、「台東区観光案内板整備方針」に基づき、観光案内板を整備していく必要がある。								
	効率性	3	直射日光や風雨等への耐久性が必要であり、また、社会情勢の変化に対応するため数年で盤面を更新する必要があることから、案内板には特殊な部材や加工を施している。設置(建替え、盤面更新)時には高コストとなるが、耐用年数を長くすることや容易に盤面更新を行える構造とすることで、コストの低減を図っている。								
	手段の適切性	3	既存案内板の情報の更新や経年劣化への対応については、引き続き専門業者に委託して実施するとともに、平成29年度に実施した設置調査の結果に基づき、「台東区観光案内板整備方針」を踏まえて計画的に観光案内板を整備している。								
目的達成度	4	平成30年度は観光案内板20基を新規設置予定としていたが、地元住民との合意形成も円滑に進み、着実に設置できた。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
外国人観光客をはじめとする旅行者等の受入環境の整備として、平成30年度に観光案内板を新規で20基設置した。引き続き「台東区観光案内板整備方針」に基づき、誰もが分かりやすい観光案内板の維持管理を行うことで、本区を訪れる方が安心して観光を楽しめるよう、来街者の目線に立ったまちなかにおける観光案内の充実を図っていく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			